

審査視点を踏まえた効果的な研究ストーリーを構築！

～外国人若手研究者向け科研費研究計画調書作成の英語セミナー～

信田 誠¹、小川 正¹

¹ 京都大学高等研究院 ヒト生物学高等研究拠点 (WPI-ASHBi) リサーチアクセレーションユニット E-mail: ashbi-acceleration@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



【概要】

自らの研究を専門外の読者へ伝えるには、自身の専門的な研究に加え、大きな俯瞰的視点から見た学術的課題と、研究成果から広く展開する学術・社会的意義を含んだ**研究の全体像を示すストーリーの構造**が重要である。

研究の全体像を示すストーリー構造



京都大学ASHBiでは、この研究ストーリーに着目。日本語と比べて情報や支援の面で格差のある外国人若手研究者を主な対象に、科研費の**審査プロセス**の分かりやすい図解と、**審査視点を踏まえた効果的な研究ストーリー**の構築法を組み合わせた英語セミナーを開催し、彼らが審査員からみて理解されやすい申請書を作成する能力の獲得機会を提供している。

【背景と課題】

分かりやすい研究計画調書作成には、**審査員が理解しやすい研究ストーリーの構築が重要！**

① 審査員の視点 (評価ポイント) を理解する

- 外国人研究者にとっての問題点
- ▶ 情報が網羅的かつテキスト中心で理解しにくい
 - ▶ そもそも英語で助言や支援を得にくい環境

② 審査員の視点を反映した研究ストーリーを作る

- 若手研究者にとっての問題点
- ▶ 自分視点で狭く、研究の全体像が見えない
 - ▶ 審査員の視点がうまく反映されていない

工夫

① 審査プロセスを図解し、審査員の視点を明示！

評価基準の説明
文章のみで分かりにくい

WAKATE/Kiban C are evaluated by 4 reviewers in 2 stages

審査プロセスを模式図で図解

Each reviewer provides Overall Score & 3 Rating Elements

Average of 4 Reviewers' "Overall Score" is used for selection

Overall Score	1	2	3	4
	30%	40%	20%	10%
	Poor			Excellent

Top 30%
Border-lines 20%
Low 50%

3 Rating Elements (absolute rating)	Academic Importance	Validity	Appropriateness
	学術的重要性	妥当性	適切性

審査員の視点を明示

審査員の視点は分かったでも、調書にどう反映する？

工夫

② 審査員の視点を反映した研究ストーリー構築法を提示！

俯瞰的な学術的課題

Your research

俯瞰的な学術・社会的意義

自分視点で視野の狭い計画

審査員の視点

- 学術的重要性
- 妥当性
- 適切性

審査員の視点を反映

Large unsolved issue (Empathizing theme)

俯瞰的な学術的課題

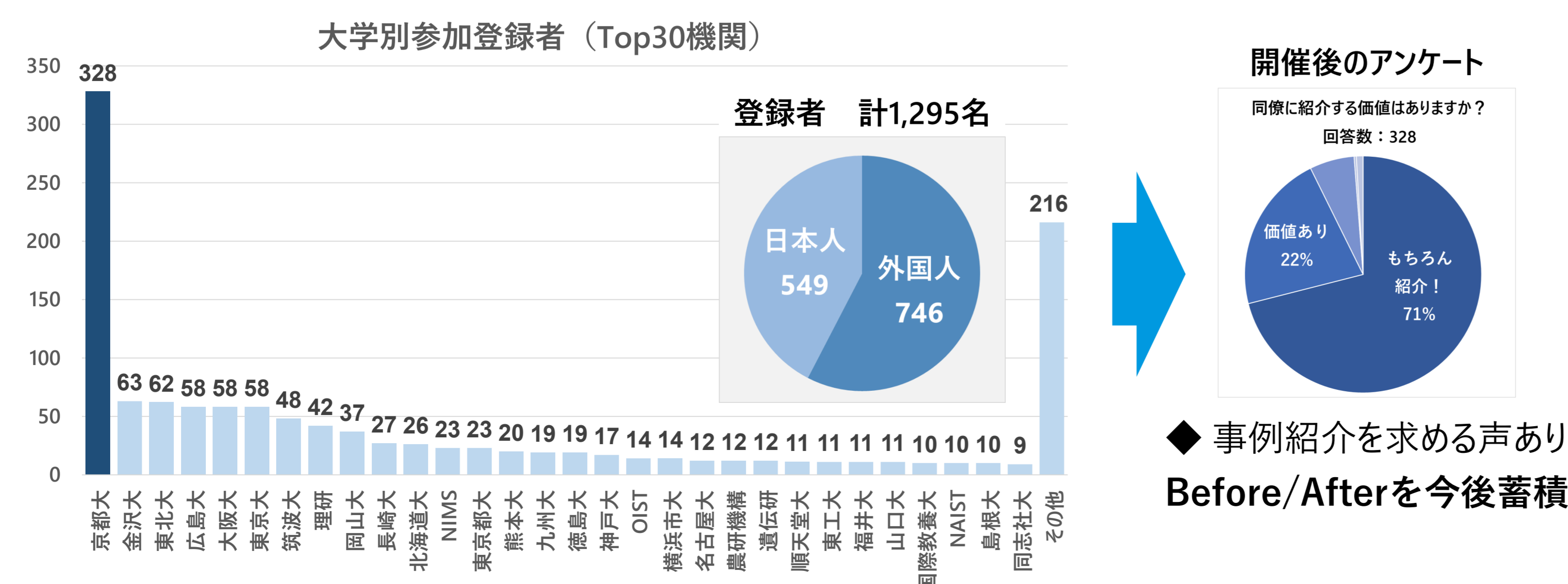
Your research

俯瞰的な学術・社会的意義

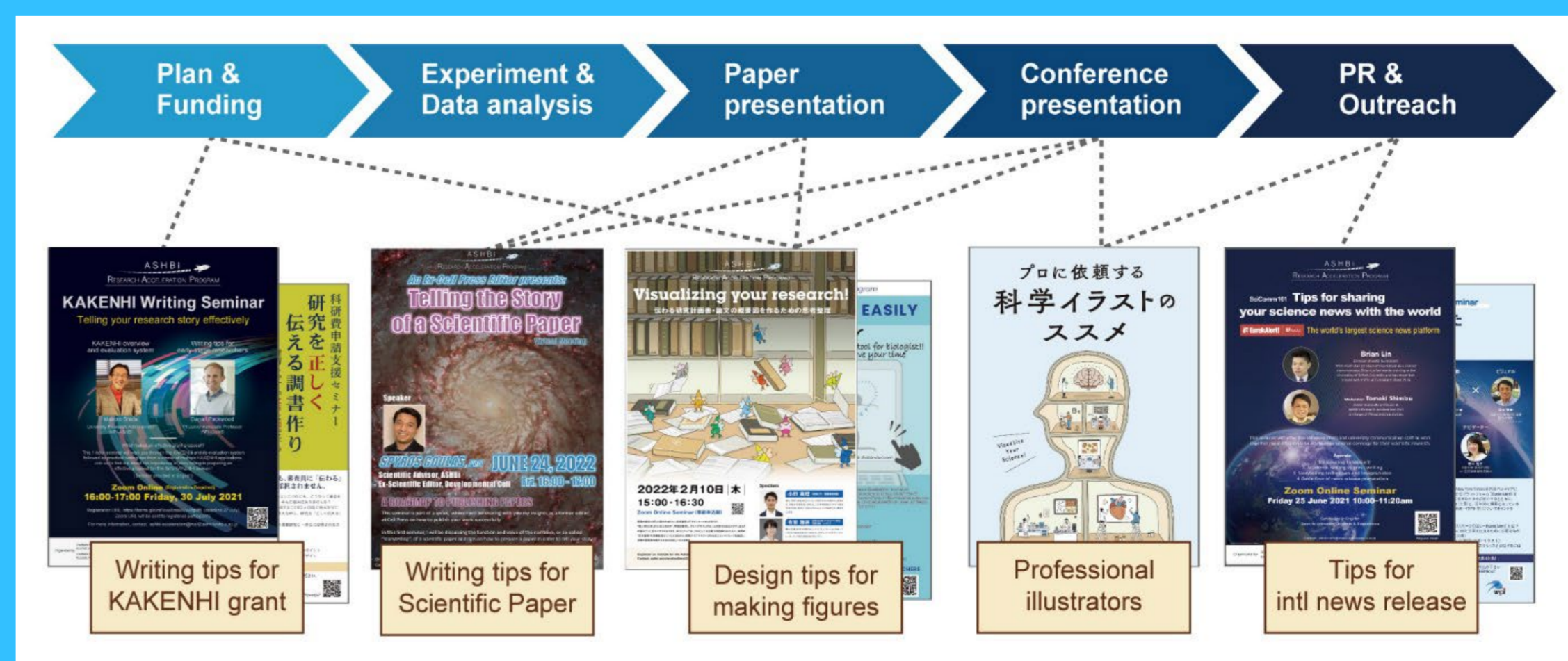
審査員の視点を反映した研究ストーリーの構造

考察

ASHBiで支援した若手・基盤Cの採択実績は 4/5 (2020年以降)
セミナーは134機関 1,295名が応募、満足度は93%



ASHBi Research Acceleration Unit では、
様々な外国人・若手研究者向けのセミナーを企画・実施しています



貴学の研究者へ周知いただける方を募集中！

お問合せ: ashbi-acceleration@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

もしくはQRからご登録→

